

平成29年7月21日

## 登録有形文化財（建造物）の登録について

文化審議会（会長 まぶち あきこ 馬淵 明子）は、平成29年7月21日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに244件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行いました。以下は登録有形文化財（建造物）の概要と主な事例、一覧表です。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、11,507件となる予定です。

### 1. 答申が行われた登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	244件 38都府県80市町村(区)	11,507件 47都道府県904市町村(区)

### ○時 代 別

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	45	65	59	75	244
累 計	1,996	3,690	2,402	3,419	11,507

### ○種 別

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	0	29	27	11	7	10	2	5	114	39	0	0	244
累計	117	1,175	1,475	483	216	357	329	326	5,204	1,549	197	79	11,507

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	209	5	30	244
累 計	9,062	614	1,831	11,507

## 2. 主な事例

### ① <sup>もり</sup>杜の都に歴史を刻む校舎群

旧東北帝国大学附属図書館閲覧室(東北大学史料館)ほか 宮城県仙台市

東北大学片平キャンパスに所在する。旧附属図書館閲覧室は、東北帝国大学技師(のちの東北大学工学部建築学科教授)であった小倉<sup>つよし</sup>強の設計により、大正15年に建築された。鉄筋コンクリート造で、塔屋をつけ、外壁は一階を化粧煉瓦張、二階を漆喰塗とし、アーチ窓を連ねたロマネスク風の意匠でまとめる。



### ② 建築家黒川紀章の初期の代表作

寒河江市役所庁舎 山形県寒河江市

黒川紀章による設計で昭和42年に建築された。4本のコアから高張力鋼で吊られた3・4階が大きく張り出す構成が特徴的である。スロープで上がる二階に吹抜けの市民ホールを配し、一階部分に議場を設けるなど空間構成も巧み。メタボリズムの影響も明らかな戦後モダニズム庁舎。



### ③ 屋上から相馬野馬追の火の祭の見物ができる <sup>たか</sup>高島家住宅コンクリート蔵

福島県南相馬市

昭和前期に建築された鉄筋コンクリート造の蔵座敷。1階を倉庫とし、2階は壁や天井を洋風の漆喰塗意匠でまとめる座敷とする。屋上から相馬野馬追の一連の行事として行われる火の祭と花火を見ることができ、洋風の持送りを設け、装飾豊かなパラペットで囲まれるこの屋上を張出す。特徴ある外観を見せる鉄筋コンクリート造の蔵。



④ 東武鉄道鬼怒川線の橋梁、駅施設群

東武鉄道砥川橋梁ほか 栃木県日光市

砥川橋梁は、明治30年に日本鉄道磐城線（現JR常磐線）の阿武隈川橋梁として架設されたトラスのうち一連を転用し、桁橋を繋げたもの。明治期に遡るトラス橋の貴重な遺構。



著作権者：東武鉄道株式会社  
提供：日光市教育委員会

⑤ 鐘塔を戴く昭和初期の木造教会堂

日本聖公会中部教区飯山復活教会

長野県飯山市

切妻造の屋根に鐘塔を戴き、玄関ポーチには尖塔アーチ形の入口を設け、下見板を扇状に張る。内部は単廊式で当初から畳敷とする。昭和初期の瀟洒な木造教会堂。



⑥ 中世寺院の構成を継承する山岳信仰の霊場

大山寺本堂 鳥取県西伯郡大山町

大山寺は山岳信仰の霊場として奈良時代より信仰を集める古刹。本堂は、前身本堂焼失後の昭和26年の建立。中世寺院本堂の平面形式や構成を継承しつつ、意匠性豊かな彫刻を用いるなど近代的な要素が加わった、近代寺院建築の好例。



<担当> 文化庁文化財部参事官（建造物担当）付  
参事官 豊城浩行（内線 2790）  
登録部門 西和彦，小沼景子，小澤栄一（内線 2797）  
登録係 貴志徹（内線 2738）  
電話：03-5253-4111（代表） 03-6734-2792（夜間直通）